

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科、算数科ともに、基礎学力は定着している。 ○特に、漢字が十分に習得できている。 ○算数科では、C 変化と関係の領域の、単位量や比較量を求める学習内容がよく身に付いている。 <課題> ▲国語科では、資料を見てどのような工夫をしているのかを読み取る問題（内容としては「書く」）で課題が見られた。 ▲集めた情報を基に、文章の続きを書く問題で課題が見られた。 ▲算数科では、体積の意味の理解、整数と小数の減法、分数の大きさの比較とその説明において課題が見られた。	<成果> ○家族との会話、先生や大人、友達に対する信頼、夢や目標をもつこと、意見の違いについて検討すること、生活の中での幸福感、授業以外での ICT 機器の活用、地域や社会への貢献への意欲、授業に対する前向きな姿勢、学習での深まりや気付き、学級での課題解決や個人での目標設定、授業以外での英語の活用など、ほとんどの項目において非常に肯定的に評価できている。 自己肯定感が高い現状に安心することなく、これからも指導・支援を継続していく。 <課題> ▲メディアの時間を2時間で区切ると接触時間が全国平均より短い、1時間で区切ると少し長くなる。

改 善 策
学 校 で の 取 組
① 授業や朝の学習、宿題の中では基礎的・基本的な問題に加え、思考力・資料活用力を要する問題や、課題の見られた単元や形式の問題に取り組む。 ② 「説明ステップアップツリー」を活用し、分かりやすく説明する力を身に付けるとともに、よりよい考えを求めようとする態度を養う。 ③ 文章のよさや工夫を読み取り、そのよさを生かして作文する活動を大切にする。 ④ 資料からの引用や文字数など、条件を設定してまとめなどを書く活動を取り入れる。 ⑤ 算数科の学習では、児童の実態を捉え、「わかった」「できた」を実感できる授業づくりができるよう研修を進める。特に、概念理解及び考え方を説明する活動を大切にする。 ⑥ クロームブックを効果的に活用し、児童が主体的に考え、表現することができるようにする。 ⑦ 「竹小よい子の一日」や「家庭学習の進め方」をもとに、学習規律や生活習慣の確立を図る。
一貫教育 金光学舎 での取組
○中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間（「家庭学習がんばりカード」）を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。 ○「浅口市立小学校・中学校クロームブック学年別スキル表」を活用し、系統的な指導を各学年で行う。 ○生活習慣強化週間「早ね！早おき！朝ごはん！金光 学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。 ○金光地区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において友達と学び合い、主体的に学習できるように連続した取組を実践する。
家庭・地域へのお願い
○メディアに触れる時間を定め、毎日守ることができるようをお願いします。 ○「家庭学習がんばり週間」を機に、計画的な家庭学習の仕方についてアドバイスや励ましをお願いします。 ○家族間の挨拶や和やかな会話を増やし、学校であった話を聞くことや頑張りを認める声掛けをお願いします。